

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取湖陵高等学校

重点項目	専門人材育成重点校	提出日	平成30年1月29日
------	-----------	-----	------------

1 学校目標

[1]教育方針

自立：自己の向上に努め、たくましく社会を生きぬく力を育成する
協同：お互いを思いやり、共に行動できる豊かな人間性を育成する
創造：実践をとおして、新たな価値を創造できる力を育成する
実践的な教育をとおして、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、自主性・自立性を養い、社会人としての素養を身につけ、社会に貢献できる人材を育成する。

[2]教育目標

「多面的な取組で専門人材を育てる鳥取湖陵高校の教育を推進する」

- ①実験実習、資格取得などの実践的な教育を基礎に、習得した知識・技能を社会で活用する基礎的な力も養い、勤労観・職業観を育てる。
- ②新たな学び方を通し、生徒の主体的で深い学びを促し他者と協調する能力を養う。
- ③人権尊重の心を育て、自他ともに尊重する共生の精神を形成する。
- ④キャリア教育の充実により人生を生き抜く力を身につけ進路の実現を図る。
- ⑤生徒一人ひとりの心情を理解し共感と相互信頼に基づいた指導を通して、規範意識を高め、市民としての素養を身につける取組を進める。

2 重点項目に係る目標

目標達成のための平成30年度重点目標

教育活動全体をとおして生徒理解を徹底し、一人ひとりに応じたきめ細かな教育を行う。

(1) 専門力を高める教育の推進

- ・各科の専門領域の基礎基本を身につけさせる教育を推進する。
- ・基礎基本を応用した技術や高度な内容に関する調査・研究などに挑戦する。
- ・学びの成果を活かし、資格・検定取得に積極的に取り組む。
- ・農業学科では農業生産工程管理（GAP）の平成31年度認証を目指すとともに、HACCPの取得に向かって調査・研究を進める。
- ・5Sを推進することで、職業人としての態度や姿勢を培い、実践力を身につける。
- ・これらの取組を通して地域の産業を担う専門人材を育成する。

(2) 新たな学び方の創造

- ・協同学習の理念を基盤にしたアクティブな学び方を積極的に実践する。
- ・ICTの活用を推進し、複雑で高度化する情報社会で生きる力をつける。
- ・専門教科と普通教科の連携等の工夫を行い、学力の向上を目指す。
- ・生徒の仲間とともに「学ぶ喜び」「学ぶ責任」があることの意識を高める。

(3) 社会に開く学びの推進

- ・地域や産業界と連携を進め、学校での学びを社会で生かす能力の基礎を育てる。
- ・地域に本校の教育資源を提供し、産業界や地域の教育力を本校に導入することで、生徒の専門力を高める。
- ・異世代や障がいのある方との交流体験を通し、人権を尊重し、共に育つ共育を推進し、共生の心や自他を尊重する気持ちを育む。

(4) 人生を生き抜く力の育成

- ・基礎学力の向上も含めキャリア教育を充実する。
- ・インターシップやスーパー農林水産業士等の長期就業体験などの取組を通して、鳥取県の産業を担う人材を育て地域に貢献する。

(5) 規範意識を育て安全・安心な学校をつくる

- ・高校生として、市民の一人として有すべき素養と規範意識を高め、自らの人生を自らの手で切り開くことができる意欲と素直さを身につけさせる。
- ・生徒の心情を十分に理解し、特別な支援が必要な生徒などにも十分に配慮を行う。
- ・教職員が方向を一つにし、保護者や地域と連携しながら明確かつ強力な姿勢で生徒を育てる。

<数値目標>

○取得資格の目安・・・資格取得・検定数（卒業までに3個以上）

○ベーシックを基礎として、計画的に継続的に資格取得や検定合格に臨む。各学科、コースによって行って受験できる資格数が異なるが、1年から2年時の取得を目指す。

・・・概ね受験者の80%以上の合格を目標とする。

○アドバンス、スペシャルは、2年後半から3年前半にかけて取得を目指す。難易度は高くなるが、専門教科や実習と関連付けて、学習成果の深化を図り、取得を目指す。

・・・概ね受験者の50%以上の合格を目標とする。

本校で取得可能な資格・検定一覧									
○ベーシック（各学科の基礎的な検定や普通科に関するもの）									
No.	職業資格等の名称	種別	主催団体等	F	G	M	H	I	
1	漢字能力検定	3級	文部科学省認定（財）日本漢字能力検定協会	○	○	○	○	○	
2	CG-ARTS協会各種検定	ベーシック	文部科学省認定 CG-ARTS協会						○
3	トレース技能検定試験	3級	文部科学省後援（財）中央工学生涯学習センター		○				
4	色彩検定	3級	文部科学省後援（社）色彩検定協会		○				
5	電気工事士	第2種	経済産業省管轄（社）電気技術者試験センター			○			
6	工事担任者	AI第3種	総務省管轄（財）日本データ通信協会			○			
		DD第3種							
7	危険物取扱者	乙種1～6類	総務省管轄（財）消防試験研究センター			○			
8	技能検定（造園）	3級	厚生労働省		○				
9	技能検定（園芸装飾）	3級	厚生労働省		○				
10	技能検定（フラワー装飾）	3級	厚生労働省		○				
11	技能検定（普通旋盤）	3級	厚生労働省			○			
12	技能検定（電子機器組立）	3級	厚生労働省			○			
13	技能検定（機械検査）	3級	厚生労働省			○			
14	全国高校家庭科技術検定 被服（洋服）	2・3級	（財）全国高等学校家庭科教育振興会				○		
15	全国高校家庭科技術検定 被服（和服）	2・3級	（財）全国高等学校家庭科教育振興会				○		
16	全国高校家庭科技術検定 食物	2・3級	（財）全国高等学校家庭科教育振興会				○		
17	全国高校保育技術検定（4種）	2・3級	（財）全国高等学校家庭科教育振興会				○		
18	機械製図検定		（社）全国工業高等学校長協会			○			
19	情報技術検定	2級	（社）全国工業高等学校長協会			○		○	
20	計算技術検定	2級	（社）全国工業高等学校長協会			○			
21	情報処理検定	2級	（財）全国商業高等学校協会						○
22	ビジネス文書実務検定	2級	（財）全国商業高等学校協会	○	○	○	○	○	
23	食の検定・食農級	3級	食の検定協会	○					
24	鳥取県福祉ヘルプメイト資格		鳥取県教育委員会				○		
25	品質管理検定	3・4級	（財）日本規格協会			○			
26	エクステリアプランナー	2級	（社）日本エクステリア工業協会		○				
27	バイオ技術者認定試験	初級	日本バイオ技術教育学会	○	○				
28	日本農業技術検定	3級	日本農業技術検定協会	○	○				
29	グラフィックデザイン検定	2級	（社）全国工業高等学校長協会						○
30	ITパスポート試験		情報処理推進機構						○

○アドバンス (難易度の高い資格や検定)						F	G	M	H	I
No.	職業資格等の名称	種別	主催団体等							
1	漢字能力検定	2級	文部科学省認定 (財) 日本漢字能力検定協会	○	○	○	○	○		
2	工事担任者	DD第1種	総務省管轄 (財) 日本データ通信協会				○			
3	工事担任者	DD第2種	総務省管轄 (財) 日本データ通信協会				○			
4	危険物取扱者	乙種4種目以上	総務省管轄 (財) 消防試験研究センター				○			
5	CG-ARTS協会各種検定	エキスパート	文部科学省認定 CG-ARTS協会							○
6	トレース技能検定試験	1・2級	文部科学省後援 (財) 中央工学生涯学習センター				○			
7	技能検定 (造園)	2級	厚生労働省				○			
8	技能検定 (園芸装飾)	2級	厚生労働省				○			
9	技能検定 (普通旋盤)	2級	厚生労働省					○		
10	技能検定 (電子機器組立)	2級	厚生労働省					○		
11	情報技術検定	1級	(社) 全国工業高等学校校長協会							○
12	ビジネス文書実務検定	1級	(財) 全国商業高等学校協会	○	○	○	○	○	○	
13	情報処理検定	1級	(財) 全国商業高等学校協会							○
14	日商PC検定試験 (文書作成)	2級	日本商工会議所							○
15	食の検定・食農級	2級	食の検定協会	○						
16	下水道技術検定	第3種	日本下水道事業団				○			
17	測量士補		国土交通省 国土地理院				○			
18	公害防止管理者	各種	(社) 産業環境管理協会				○			
19	日本語文書処理技能検定	1級	日本商工会議所							
20	計算技術検定	1級	(社) 全国工業高等学校校長協会					○		
21	日本農業技術検定	2級	日本農業技術検定協会	○	○					
22	スーパー農林水産士		鳥取県農林水産部・鳥取県教育委員会	○	○					
23	基本情報技術者試験		情報処理推進機構							○
24	FFJ検定	上級	鳥取県農業教育会	○	○					
25	全国高校家庭科技術検定 被服 (洋服)	1級	(財) 全国高等学校家庭科教育振興会						○	
26	全国高校家庭科技術検定 被服 (和服)	1級	(財) 全国高等学校家庭科教育振興会						○	
27	全国高校家庭科技術検定 食物	1級	(財) 全国高等学校家庭科教育振興会						○	
28	全国高校保育技術検定 (4種)	1級	(財) 全国高等学校家庭科教育振興会						○	
29	色彩検定	2級	文部科学省後援 (社) 色彩検定協会				○			

○スペシャル (非常に難易度の高い資格や検定)						F	G	M	H	I
No.	資格等の名称	種別	主催団体等							
1	漢字能力検定	準1級	文部科学省認定 (財) 日本漢字能力検定協会	○	○	○	○	○	○	
2	応用情報技術者試験		情報処理推進機構							○
3	日本農業技術検定	1級	日本農業技術検定協会	○	○					

F 食品システム科 G 緑地デザイン科 M 電子機械科 H 人間環境科 I 情報科学科

3 事業計画 (事業名、事業概要)

【高等学校課事業】

(1) 地場産プラザ「わったいな」における生産物販売実習

農業学科の生徒が栽培・加工した生産物を直売センターで販売することで、流通・販売までを総括した学習を実践する。土曜日に実施することで本校教育内容を多くの県民にアピールし、生徒は達成感や満足感を得るとともに販売技術や接客マナーの向上につながる活動である。

(2) 外部人材活用事業

それぞれの専門分野の講師から直接、知識や技術を学ぶことで専門性の深化と応用を図る。また、地域と連携するなかで地域産業の理解や地域課題の解決能力を身に付ける。

(3) 「ようこそ高校へ」版キャリア塾

キャリア教育を推進するため、県内の有識者や本校を卒業した社会人から社会構成員として求められることや社会との関わり方、自己実現等について講義を受ける。良き社会人、社会の構成員を目指すためにも高校生活を充実させ、常に基礎学力の向上を図ることが大切であることを理解する。

(4) 東部地区専門高校協同企画「ふるさと手づくりまつり」

東部地区の専門高校が協同でその教育内容を発信し、東部地区の産業やものづくりの大切さを伝えるイベントである。各校生徒が、地域住民や小中学生を対象に各校の専門性をアピールする機会にはじめて取り組むものである。

【独自事業】

(1) 人生を生き抜く力の育成

ア. インターンシップ

2学年175人が鳥取県東部地区の企業・施設等において本校で学んだ専門教育等の学習成果を発揮するとともに、勤労観・職業観の育成や社会との関わり方、自分自身の素養をみつめる機会として実施する。

イ. 上級学校・企業見学

県内の上級学校や関連企業の見学をとおして、地域教育や地域産業について理解する。また、実際に働いている方や施設や設備の様子から、自分自身を働いている姿を想像し、将来の進路選択に役立てる。

(2) 専門力を高める教育の推進

ア. 技術挑戦事業

①校内緑化プロジェクト等【緑地デザイン科】

校内敷地内に庭園や樹木見本園を設計・施工し校内緑化を図るとともに、日ごろの学習成果を発揮する機会とする。また、校外での出展をとおして本校での学習成果をアピールする。

②プリザーブドフラワーによるフラワーアレンジメント技術の向上【緑地デザイン科】

フラワーアレンジメント技術の中でも、特に注目を集めているプリザーブドフラワーの技術習得をとおして生徒の学習意欲の向上を図る。作品制作や展示することで本校のアレンジメント技術を紹介する。

③Ene - 1 GP Suzuka への挑戦【電子機械科】

蓄電池とモータの組み合わせによる電気エネルギーの効果的な利用技術を研究する。ものづくりに興味を持たせ、製作技術の向上や問題解決能力の育成を図る。鈴鹿サーキットでの走行を目標に意欲的に取り組む。

④ミュージックロボットシステム「ミューズ」の製作研究【電子機械科】

「工業実習」等で学習している Arduino マイコン制御をコアとして用いることで生徒が学習成果を強く体験できる。自動演奏楽器の種類を増やし、ロボットオーケストラを目指し、ロボットシステムの構築を進展する。

⑤ファッションショー【人間環境科】

「ファッション造形基礎」の授業の成果発表として、「青陵祭」でファッションショーを実施。作品製作からものづくりの楽しさや達成感を、さらにショーの企画や運営に携わることで主体性を身につけさせる。

イ. 調査・研究

①GAP取得～より安全・安心な湖陵ブランドの創造～【食品システム科】

生徒が主体的に GAP 取得に取り組むことで農業生産の安心・安全はもとより環境保全や労働保全に対する関心を高め、農業経営を科学的・社会的に捉える技術を身に付ける。5S教育やデータ管理などのマネジメントを重視することで生産の効率性を上げ、結果的にそれが湖陵ブランドへの確立につながる活動となる。

ウ. チャレンジ資格

①湖陵版資格スタンダードの決定

各科で重点的に取り組む資格を生徒にわかりやすく説明するため、専門科目や特に重要視する部分を明示し、学習意欲の向上や課題研究への接続を円滑にすることを目的とする。本校における資

格見える化を図り、教科指導の充実や生徒の資格取得をしっかりと支援する。

②緑地デザイン技術講習会

専門資格である「園芸装飾」、「フラワー装飾技能検定」、「造園技能検定」の取得に向かって地域
の関係者を講師として迎え、高い技術の習得するものである。

③技能オリンピック・若年者ものづくり競技会

標記の大会への出場を目標とすることで生徒の意欲向上や専門技術の向上につながるものであ
る。地域産業との連携が深まる。また、技能五輪大会のステップ大会として開催される若年者もの
づくり大会にも生徒に取り組みせる。

④検定取得による技術力向上（旋盤部門・電子機器組立部門）

普通旋盤や電子機械組立の技能検定3級合格を目標として、地域の熟練技能者から技術指導を受
ける。本年度は一部の生徒ではあるが、2級取得にも取り組みせたい。

エ. 社会に開く学びの推進

①異世代交流事業

高齢者、障がい者、幼児等との交流をとおして、机上で体験することのできないつながりを感じ
ることができる。この体験をとおして専門科目の教育内容の確認やの対人スキルの向上に取り組む
ことができる。また、小学校、中学校との園芸交流では、生徒が指導することで実践力を育成する。

(3) 他者と協働して学ぶ

ア. 進路実現へ向けた学び支援・学習セミナー

本校生徒の進路状況は、例年約6割が4年制大学や短期大学、専門学校への進学している。大
学等への進学、特に国公立大学や近年希望者が増加している看護系専門学校を目指す生徒にとっ
て、入学試験に合格できる学力をつける必要がある。そこで、放課後、本校教員の補助として大学
生を招き、生徒への学習を支援してもらうことで、より効果的な学力の定着を図ることができる。